

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	調和組織材料の革新的力学特性発現機構の解明と次世代構造材料創製指導原理の創発
研究代表者	飴山 恵 (立命館大学・理工学部・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、応募者が発見した調和組織材料の力学特性発現機構の解明を目的とするものである。ナノ・マイクロからマクロにわたる、さまざまな材料科学的手法を駆使した実験や観察とシミュレーション解析を併せて行う本研究の計画は良く練られたものであり、現時点では未解明の特異な力学特性の本質が明らかにされる可能性が高い。</p> <p>また、本研究で得られる成果によって、「強さ」と「ねばさ」の両性質を合わせ持つ新しい金属材料開発への指導原理が構築できれば、工業的にも大きな波及効果が期待できる。</p>